

# 錦町人口ビジョン 概要

策定：平成27年10月

## 現状

- 錦町は出生率が全国のなかでも高く、近年は住宅開発によりファミリー層が流入している。一方、若年層の転出者が転入者を大きく上回っている。
- 錦町常住者は「農業」「建設業」「製造業」「卸売業、小売業」「医療、福祉」への就業が多い。
- 就業者が多い産業のうち、他の自治体と比較して特化している産業は、「農林業」と「製造業」である。農林業は中高年が多くを占めており、若年層の就業者が少ない。製造業の就業者は、自動車産業、半導体産業の2社が大半を占めている。
- 錦町の人口は、人口の転出が今のまま続けば、2040年に約7,000人、2060年に約4,200人まで減少する可能性がある。

## 課題

- 錦町に転入する人口（ファミリー層など）の転入元の多くは球磨地域である。将来的に球磨地域の人口が減少することで、錦町への転入人口も減少するリスクがある。
- 進学・就職を期に転出する若年層が多く、それらの転出が、その後（25歳以上）の転入を上回っている。若年層が意欲的に働くことができるしごとづくりが必要である。
- 錦町で特化している産業のうち、製造業は、自動車・半導体企業2社で大半が雇用されている。今後、2社の業績や業界動向によって、就業者数が減少するリスクがある。
- 農業は特化係数が高く、就業者も多いため、錦町の基幹産業と位置づけられる。一方、農業は若年層の就業者が少なく、今後も農業を基幹産業として位置づけるためには、将来を担う若年層の就業機会を作る必要がある。

## 目指すべき将来の方向

### ○結婚・出産・子育ての希望を実現する

- ・町民が希望する子どもの数は現状より多い。希望よりも子どもを増やせない要因である「経済的な不安」等のほか、結婚・出産・子育て環境を充実させることで、さらなる出生数の増加を図る。

### ○錦町への人の流れをつくり、人材の流出を抑制する

- ・錦町内での高校生の就職（希望）率の低さが顕著であり、若年層の転出の要因となっている。若年層の活躍の場を提供できるしごとづくりを進め、若年層の人材の流出を抑制する。
- ・錦町への移住を阻害する要因となっている仕事の間、住む場所（空家など）のミスマッチ、鳥獣による農業被害に対応することで、町への移住を促進し、人の流れをつくる。

### ○魅力ある雇用を創出する

- ・錦町高校生の町内就職（希望）率が低く、若年層の流出の原因のひとつとなっている。町内に若年層が就職を希望する場が必要である。

### ○安心して暮らし続ける地域をつくる

- ・町民の定住意向は高く、転出した人も錦町の生活環境を高く評価している。一方、今後も錦町に定住するための条件として、「仕事で十分な収入が得られる」「希望する職種・条件の仕事がある」「子どもの教育環境が充実している」「出産・子育てに関する行政支援が充実して

## 人口の将来展望

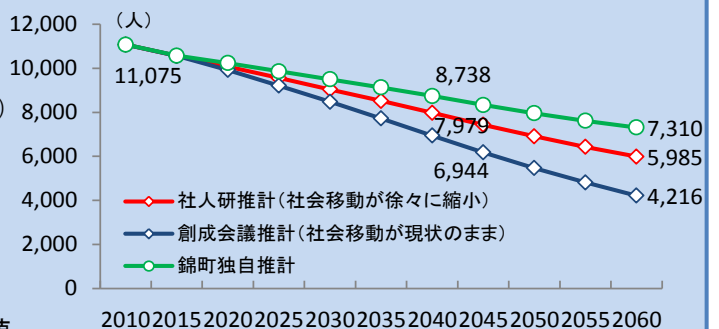
○錦町では、「目指すべき将来の方向」に沿った施策を展開することで、新しい人の流れを創造し、若い世代の結婚、出産、子育ての希望が実現されると仮定し、以下の条件で人口の将来展望を行った。

条件1: 合計特殊出生率は、2040年までに2.14(町民希望出生率)に上昇し、その後は2.14で推移する

条件2: 人口移動は、現在、社会減となっているコーホートについて、2020年までに半分程度に縮小し、その後は均衡する。社会増となっているコーホートは、現在の社会移動率を維持する。

○この結果、2060年の錦町人口は7,310人となり、社人研の推計値5,985人に対し、1,325人減少が抑制される。

図表 錦町の将来人口推計



■ 錦町独自推計:

・合計特殊出生率: 2040年までに2.14まで上昇し、以降は一定

・人口移動: 2020年までに社会減が半分まで縮小し、以降は一定 (社会増は一定)